

「 季節はまわる 」

天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。

神のなされることは皆その時にかなって美しい。

(伝道の書3：1・11)

ひかり幼稚園では、毎年「表現活動」と呼ばれる行事を行っています。一般的な「発表会」と類似していますが、保護者が参観する当日に向けて、見せるために準備する活動にならず、準備を始める最初の段階からトータルで、活動自体を大事にしたいという思いで「表現活動」と呼んでいます。

今年度、年長児たちが考えてくれたのは「季節はまわる」というテーマでした。春・夏・秋・冬の4つのグループを作り、園児たちが希望するグループに分かれ、それぞれに活動を行いました。春グループは園庭の桜の木の枝を植樹してみたり、夏グループはあさり貝の研究をしてみたり、秋グループは炭火で焼いた焼き芋を食べたり、冬グループは重曹とコンディショナーで人工の雪を作ってみたり・・・と、活動の過程でそれぞれの季節を味わいました。そして参観日当日は、それぞれのグループがそれぞれの季節を、ステージでそれぞれのやり方で紹介してくれました。

春⇒夏⇒秋⇒冬と順番にステージに上がり、最後の冬グループは「その日、その時をただ神が知る〜♪」と『球根の中には』の讃美歌を歌って、ステージを降りました。

「天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある」。「季節」と訳されたヘブライ語は「ゼマン」、「時」と訳された語は「エート」と別の語が使われていますが、他の訳ではどちらも「時」や「時期」として表現されます。でも、口語訳は「ゼマン」を「季節」と訳しており、ぼくはこの訳がとても好きです。絶妙に流れる「季節」のように、神さまが定められた時が流れており、そこに人間は何も手出しはできないのです。「好き」とか「嫌い」とか、「早い」とか「遅い」とか、そんな人間の都合に合わせた価値観を寄せ付けもせず、その神さまの「時」「季節」は「美しい」というのです。

今年は猛暑の影響で、札幌にもようやく秋が来て、そしてあっという間に秋が過ぎ去り、冬になろうとしています。それでもやっぱり季節はちゃんとまわるのです。その季節の移ろいに目を留めつつ、神さまの「時」に思いを馳せます。

ひかり幼稚園園長 石橋 大輔

日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後第4回連盟年次総会(1950年)で結成が決議されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ヒール等)充実の補助等をフォーリミッショナボード(American Board of Commissioners for Foreign Mission)から受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

2025年度役員

- ・会長：田中秀一 シオン山教会
(北九州市 愛の園保育園 園長)
- ・副会長：久保田信人 和歌山バプテスト教会
(和歌山市 和歌山ひかり幼稚園 副園長)
- ・役員：中島美香 目白ヶ丘教会
(新宿区 目白ヶ丘幼稚園 園長)
- ・役員：丸田恵美 久留米キリスト教会
(久留米市 付設めぐみのその幼児園 園長)
- ・役員：美園実保 伊集院教会
(日置市 伊集院幼稚園 園長)

ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費によって運営されています。我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行

記号：17470

番号：83555851

・他行から

店名：七四八(店番748)

普通：8355585

・名前：日本バプテスト保育連盟

(ニホバプテストホイクソメイ)

・祈りの課題

- ①日本バプテスト保育連盟の働きのために
 - ②教会の方々が保育現場へ導かれるために
 - ③教職員の主日礼拝参加と喜びのために
- 皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

お知らせ

・2025年8月7日(木)～9日(土)

東京新宿の目白ヶ丘教会を会場にバプテスト保育連盟総会・情報交換会・幼稚園訪問(4園)・教師研修会を開催いたしました。

全国15の施設からのべ39名の理事長、施設長、教職員が参加をされました。

3日間の開催中に提案、会議があり、情報交換会で熱く語り、園訪問では園の現場を詳しく教えていただきました。

一人1体手作りしたパペットたちが秋には各園でお披露目されたことでしょう。来年も是非バプテストファミリーで集まりましょう。

・2026年7月30日(木)～8月

1日(土)和歌山ひかり幼稚園において、幼稚園と児童発達支援事業所の働きについて、教職員研修会を予定しています。次年度のご予定に加えて頂ければ幸いです。また覚えてお祈り下さい。

園紹介 幼稚園型認定こども園 光の子幼稚園

～「光の子として歩みなさい」(エフェソ5:8)～

「光の子幼稚園」は戦後、大牟田バプテスト教会（1911年創立）が祈りを通して幼児教育を担う願いを持ち、この地に生まれました。それは、1949年3月に遡ります。園は宗教法人立「大牟田バプテスト教会附属幼稚園」として設立されました。

その後、多くのお祈りとご協力を得て、1981年に「学校法人大牟田バプテスト学園光の子幼稚園」となり、2015年4月には「施設型給付幼稚園」、2016年4月より「幼稚園型認定こども園光の子幼稚園」となり、2021年に園舎を新築しました。また、2024年からは「夏休み学童クラブ」を行ない、卒園生を中心に地域の子どもたちや保護者に多機能施設として貢献させて頂いています。園の特色として、キリスト教保育を土台とし、「土・水・太陽の中でおおきなあれ！」と遊びやリズム、お散歩など心と身体を思いっきり使って楽しんでいます。

また、卒園生や保護者たちが教会の教会学校や礼拝に出席して下さることもあり、教会と幼稚園が一元となって主の働きをさせて頂ければ感謝です。園では、日々の礼拝や週の教会学校の中で讃美歌を歌い、聖書のお話を聞き、神様を礼拝しています。そして、恵愛園や久山療育園、国際飢餓対策機構の働きを覚えて、神様に献金しています。

創立以来76年の歴史の中で多くの卒園生を送り出し、地域に親しまれ、覚えられております。キリスト教主義幼稚園で神様が礼拝され、福音の種が蒔かれ、その中で保育・教育の業が力強く進められ、これからも、その実を見せて頂くことを期待し、日々祈りつつ、保育に励んでおります。どうぞお祈りください。 園長 浦 肇

